

< 準備するもの >

【材料】

- ビーズ (シリンダービーズ<11/0>、丸小ビーズが適しています)
- ビーズ専用糸 (ポリエステル または ナイロンの#60~40のビーズ用の糸がおすすめです)

【道具】

- はさみ

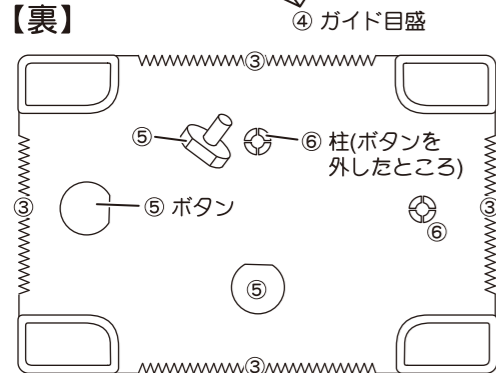
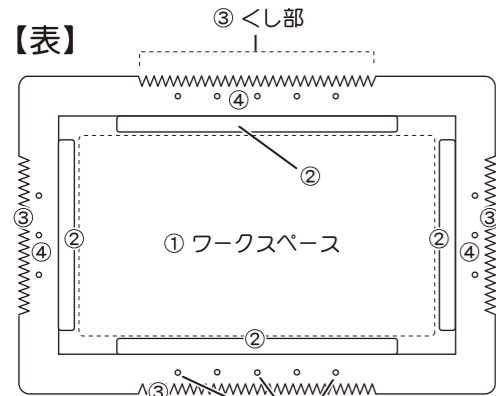
< あると便利なもの >

【道具】

- ビーズマット
- 目打 (指先で調整しづらいビーズの整列や、糸の整列に使用すると便利です)
- マスキングテープ (たて糸の始末をする時に便利です)

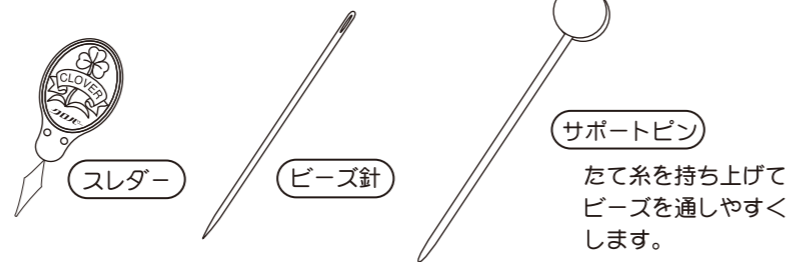
各部の名称

縦横どちらの方向でもたて糸を張ることができます。



- ① ワークスペース : ビーズを織る場所です。
- ② バー : たて糸を浮かせる役目をしています。
- ③ くし部 : たて糸をビーズの幅に合わせて張ることができます。織り機を横に使用する場合は最大でビーズ29個、縦に使用する場合は最大ビーズ19個分のたて糸が張れます。
- ④ ガイド目盛 : たて糸を反対側の“くし”にかける時の目安にします。
- ⑤ ボタン (4個) : たて糸の端の固定に使います。
- ⑥ 柱 : たて糸を張る時に糸を掛ける部分です。中央の穴にボタンを差し込んでたて糸の端を固定します。

付属品



▼シリンダービーズ <11/0>



【最大織りサイズ】※ビーズの個体差により多少前後します
横に使用した場合：縦約35mm×横約40mm
縦に使用した場合：縦約66mm×横約26mm

【最大たて糸本数と、ビーズの数と、段数】
※段数は、ビーズの個体差により多少前後します
横：30本/29個/21段
縦：20本/19個/40段

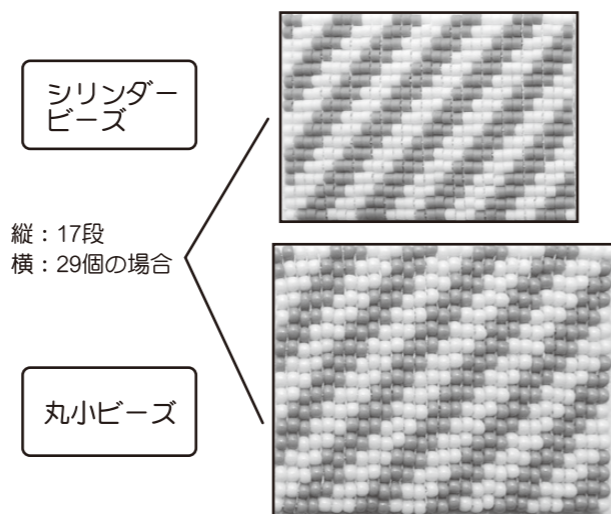
▼丸小ビーズ



【最大織りサイズ】※ビーズの個体差により多少前後します
横に使用した場合：縦約35mm×横約45mm
縦に使用した場合：縦約65mm×横約30mm

【最大たて糸本数と、ビーズの数と、段数】
※段数は、ビーズの個体差により多少前後します
横：30本/29個/17段
縦：20本/19個/32段

▼シリンダービーズと丸小ビーズは、同じ数を織っても大きさも織り地の雰囲気も違います。



たて糸の張り方

【たて糸を張る前に…】

- 図案を作成します。
- 織りたい作品に応じて、織り機を横に使うか縦に使うかを決めます。
例) 幅が広く短い作品 → 横 / 幅が狭く長い作品 → 縦
- たて糸の本数は、作品の目数 (よこ糸に通すビーズの数) +1です。

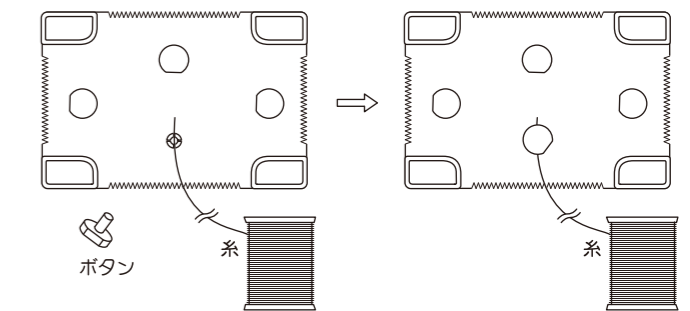
今回は横13目10段のビーズを織る場合で説明します。



※説明は、織り機を横に使用した場合です。
(縦に使用する場合も同じようにして織ります)

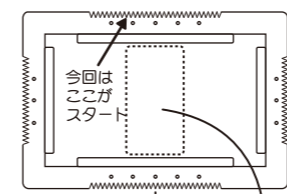
① 織り機の裏のボタンを1つ外し (横にして織る時は横にして上下にあるボタン: 図参照)、糸の端を柱の真上に置いてボタンでとめます。

【裏】

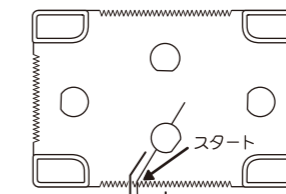


② 作品に必要な本数の たて糸を張ります。ガイド目盛を参考にして中央から左右にたて糸の数を振り分けると、糸の張りが均等になります。今回は たて糸が14本なので、左右に7本ずつ振り分けます。

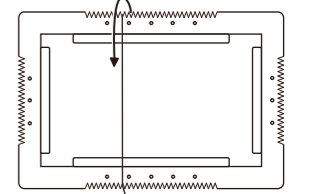
【表】1: 中央から左右に必要な糸の数を振り分けスタート位置を決めます。



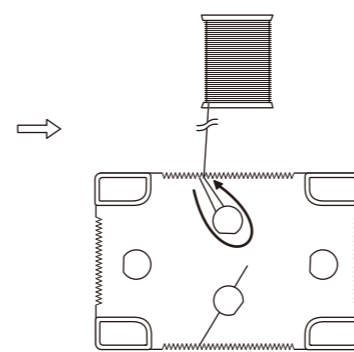
【裏】2: 糸をスタート位置のくしの溝に掛けます。



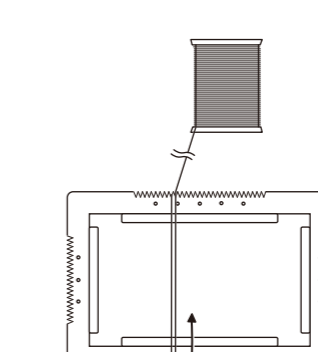
【表】3: 糸を裏から表に回し、反対側のくしに掛けます。



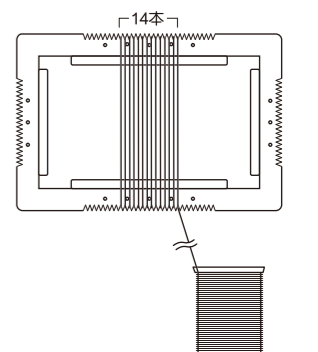
【裏】4: 柱に糸を掛けて、隣のくしの溝に糸を掛けます。



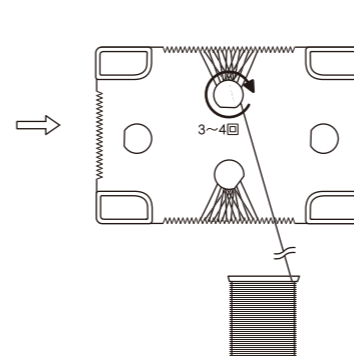
【表】5: 糸を裏から表に回し、反対側のくしに掛けます。



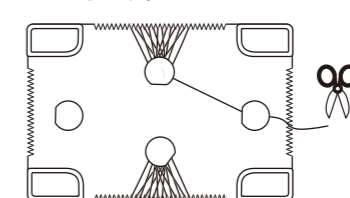
【表】6: 4と5を繰り返して必要数 たて糸を張ります。



【裏】7: 6の糸をそのまま裏に回して柱に3~4回巻き付けます。



【裏】8: たて糸のかかっていない柱に差したボタンを外し、糸端をとめ、カットします。



たて糸が張り終わりました

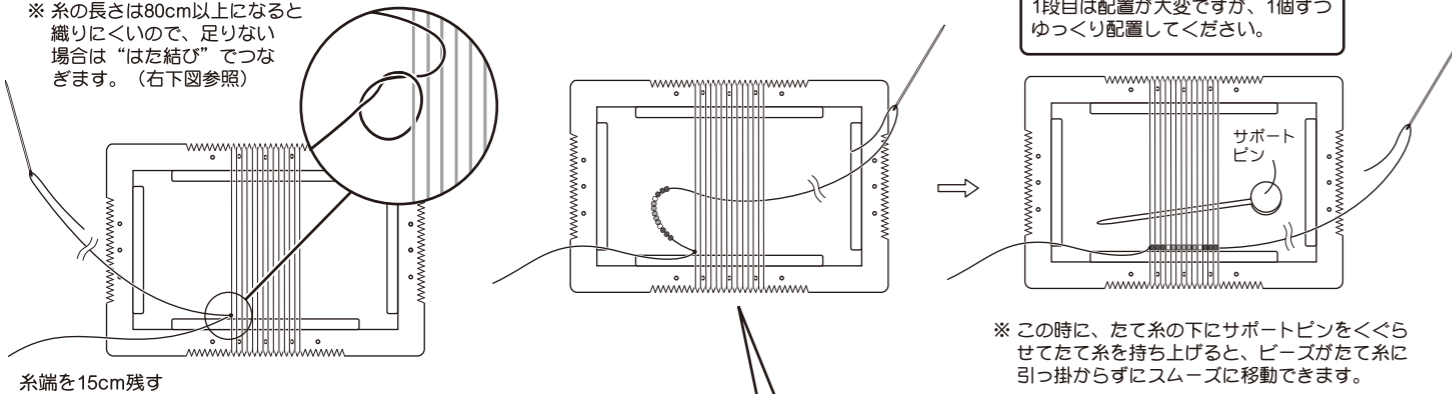
→ 基本の織り方の説明は裏面です。

→ たて糸の張り方の説明は裏面です。

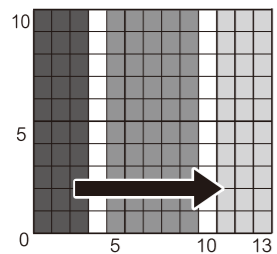
基本の織り方

- よこ糸をビーズ針に通し、糸端を約15cm残して左端のたて糸に結びます。
- よこ糸に1段目のビーズを通し、たて糸の下をくぐらせてたて糸の隙間にビーズを1個ずつ配置します。

※糸の長さは80cm以上になると織りにくいので、足りない場合は「はた結び」でつなぎます。(右下図参照)

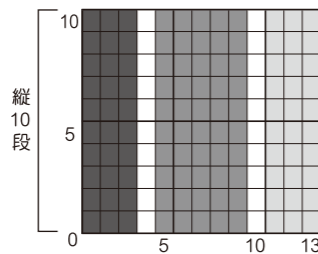


【図案例】

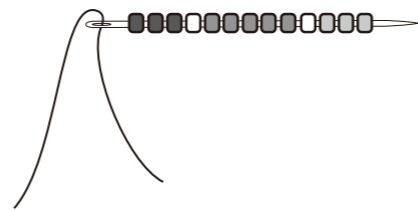


ビーズは、左から右に図案を見ながら1段分を全て通します。

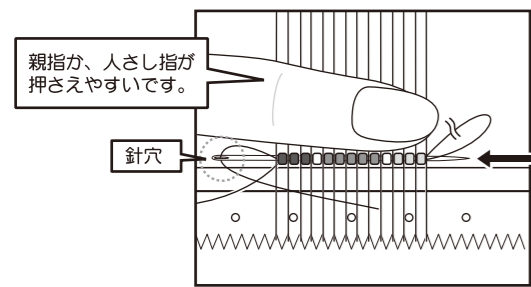
【図案の読み方】



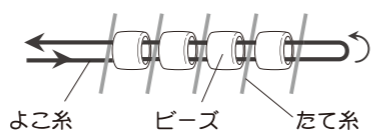
【針に通したところ】



- たて糸を指で押さえながら、たて糸の上を通るように針を針穴側からビーズに入れます。



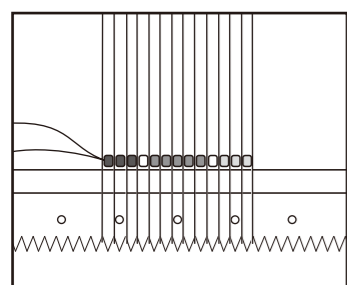
たて糸の上を通っているか確認しながら通してください



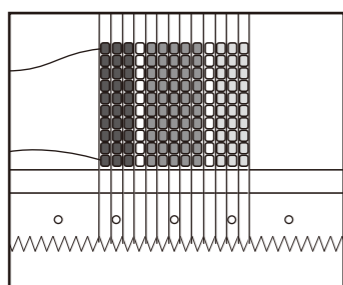
※針が一度で通せないときは、一度針を出して、数回に分けて通します。

たて糸の上下をよこ糸ではさみ、ビーズを固定しています。

- 1段織れました。

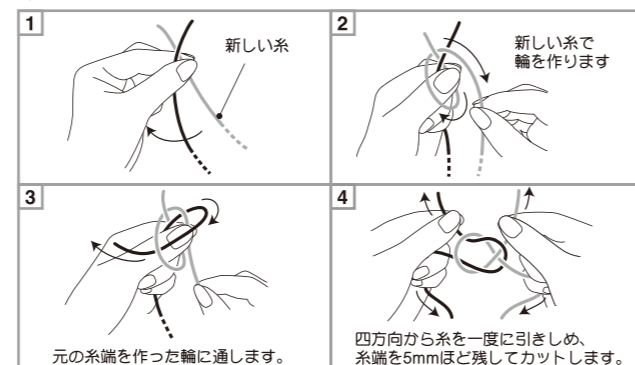


- 2段目からも同様に、1段ずつ繰り返し織ります。



よこ糸が足りなくなったら...

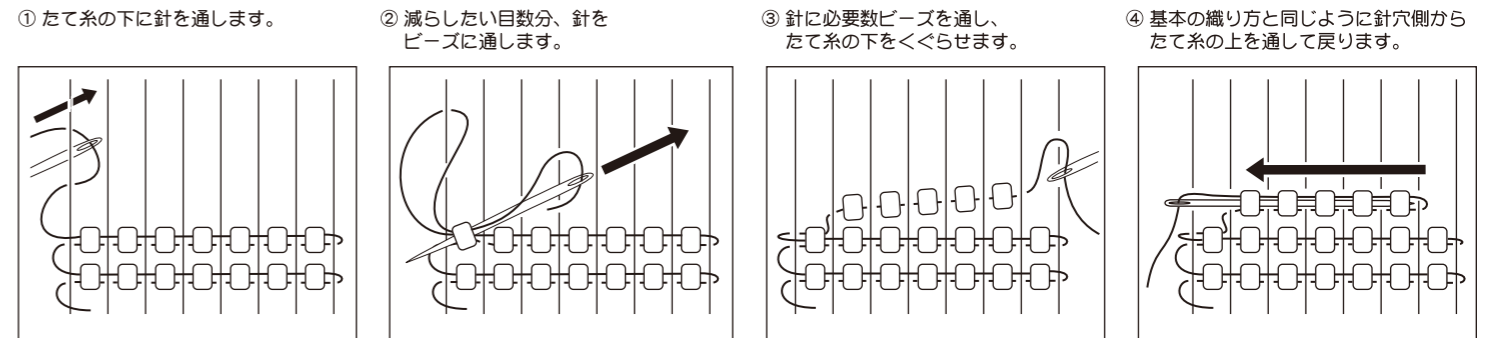
▼よこ糸のつなぎ方 (はた結び)



※結び目は、ビーズの中に隠してください。

織り方 減らし目

※図は糸の通し方がわかりやすいよう、ビーズを小さく描いています。実際に織る時は、ビーズとビーズの間に隙間が出ないように織ってください。

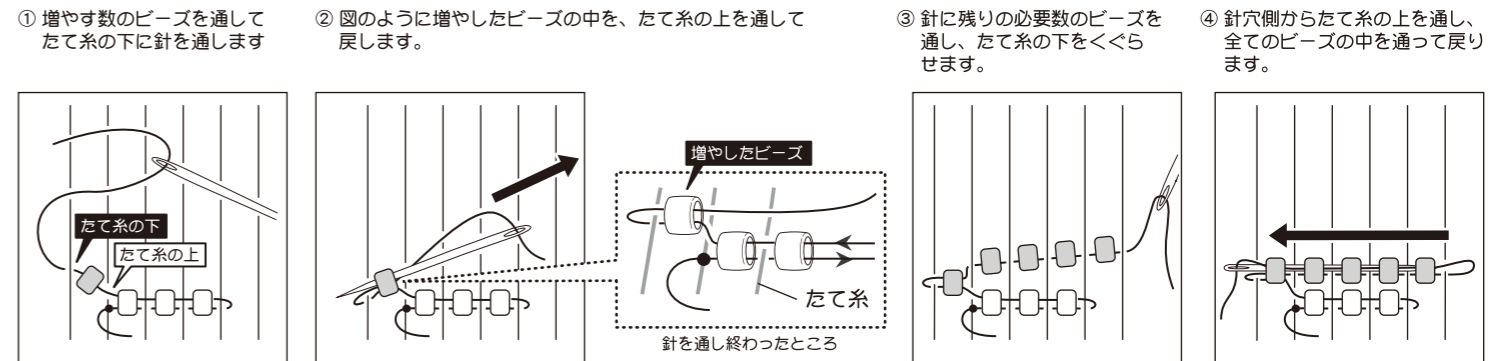


※図は両端一目ずつ減らす場合で説明しています。

両端一目ずつ減りました。この繰り返しで目を減らします。

織り方 増やし目

※図は糸の通し方がわかりやすいよう、ビーズを小さく描いています。実際に織る時は、ビーズとビーズの間に隙間が出ないように織ってください。



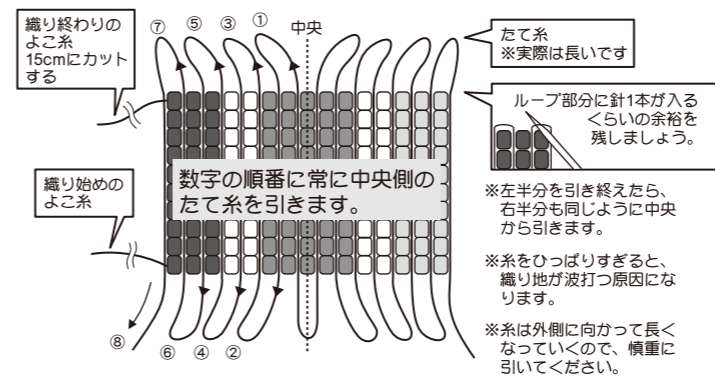
※図は両端一目ずつ増やす場合で説明しています。

両端一目ずつ増えました。この繰り返しで目を増やします。

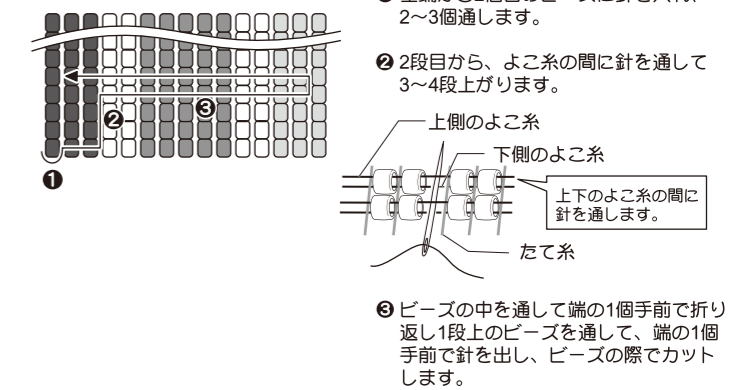
たて糸の始末

※最後の仕上げです。たて糸を引く時は、慎重に糸が絡まらないようにゆっくりと引いてください。慣れるまではモチーフを直接マスキングテープで机に貼って固定すると動きにくく、きれいに糸が引けます。

- 織り機の裏のボタンを外して柱にかかったたて糸を外し、机など平らな場所に表を向けて作品を置き、形を整えます。たて糸を中央から左右に分けて数字の順番に引きます。

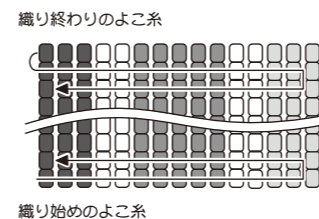


- 全部の糸を引き終えたら15cmほどの長さにカットし、図のようにたて糸を始末します。



よこ糸の始末

ビーズの中を通して、端の1個手前で折り返し1段上のビーズを通して、端の1個手前で針を出し、ビーズの際でカットします。



使用上の注意

- 用途以外のご使用はお避けください。
- 過度の力を加えると破損や変形の原因となります。
- お子様の手の届かないところに保管してください。
- 火気の近くや、直射日光のあたる場所、高温になる場所での保管はお避けください。
- お手入れの際は、軽く湿らせた布で拭いてください。シンナーやベンジンなどの溶剤のご使用はお避けください。

⚠ 注意 安全確保のため取り扱いにご注意ください。

Ⓢ 本商品や使い方説明書を無断で複製し配布することを禁じます。

▼商品に不都合な点がございましたら、お買上げ店名をご記入の上 クロバー(株)「お客様係」まで現品をお送りください。

クロバー株式会社
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5
「お客様係」 TEL.(06)6978-2277

© 2014 CLOVER